


課コード	002106	作成日	平成20年3月31日
所属名	交通政策課	作成者	小林広安

政策名(上位目的)
総合的な交通体系の確立と交通安全運動の推進
目の名称
交通政策推進費

計画コード	分野	部	課	施策・事務事業		
	款	項	目	事項		
科目コード	36	26	11	11	31	00
(旧科目コード)	36	26	01	31	00	00

事業名	戦略性
駐車場案内システム管理事業	

事業概要		
目的 (対象、意図、求められる結果)	開始年度	終了予定年度
中心市街地において、走行中のドライバーに対し駐車場の満空情報を提供することにより、駐車場探し及び駐車場入庫待ち車両による交通渋滞の解消を目的としています。	平成 6 年	年

活動内容	
<p>駐車場案内システムは、中心市街地の駐車場の満空情報を道路に設置した案内板により表示するもので、平成6年度から稼働しています。当初はシステム参加34駐車場(民間27、県道路公社1、市建設公社1、市営5)に設置した満空情報収集装置から、電話回線を通してコントロールセンターに情報を集約、ブロック案内板12基、詳細案内板30基に満空情報の表示を行ってきました。</p> <p>また、平成15年度からはインターネット(携帯電話含む)、平成16年度からはカーナビゲーションへ満空情報を提供しています。</p> <p>現在は17駐車場(民間11、県道路公社1、市営5)がシステムに参加しています。</p> <p>年間経費:コントロールセンターの維持管理、システム稼働状況の監視及び案内表示板30基の保守委託費用です。(平成20年度) 経費内訳:消耗品等223千円 + 保守委託料14,852千円 + 工事費1,000千円 = 計16,075千円 経費負担:浜松市 = 14,701千円 民間駐車場 = 1,374千円(回線使用料全額と情報収集装置保守費の1/2)</p>	

事業の性格分類	実施根拠(法令、条例等)	新市建設計画事業	ワークショップ提案事業
義務的事業 任意的事業		×	×
事業運営方法	直営 一部委託 全部委託 補助等		

		H17年度決算	H18年度決算	H19年度最終予算	H20年度当初予算	H21年度計画額	H22年度計画額	前期4年間計
事業費(千円)		22,859	20,451	18,360	16,075			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	市債							
	受益者負担分(使用料等)							
	その他	1,767	1,563	1,279	1,374			
	一般財源	21,092	18,888	17,081	14,701			
	人件費	3,200	3,200	3,200	3,200			
内訳	人工	0	0	0	0			
	単価	8,000	8,000	8,000	8,000			
計	年間経費	26,059	23,651	21,560	19,275			
	受益者負担率	0	0	0	0			

性質別内訳		扶助費	公債費	物件費	維持補修	補助費等	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	投資的経費	公営企業
平成	人件費											
18	3,200			19,485	966							
19	3,200			18,360	0							
20	3,200			14,875	1,200							

定量評価						
指標1	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	23,651	21,560	19,275		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

指標2	単位	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	目標	%				
	実績	%				
年間経費(事業費・人件費の合計)	千円	23,651	21,560	19,275		
単位当たり経費	千円/単位	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
単位当たり経費変動率	%		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

定性評価

過年度の実施内容

H19年度：コントロールセンターの維持管理、案内板及び駐車場案内システム参加駐車場に設置されている情報収集装置(17基)の定期点検を行いました。
 なお、エリアごとの満空状況を表示したブロック案内板12基は故障が著しく、平成19年度から表示を休止しています。
 <平成20年1月に実施したアンケート調査結果>
 案内板を知らない 11%、知っている 89%(うち、利用している 24%、利用していない 65%)
 システムが役立つと感じる 34%(うち、インターネットやカーナビ等 7%、案内板 19%、両方 8%)
 考察：案内板は認知しているものの活用はしていない状況にあります。

事前評価	必要性	A 高い B ↑ C ↓ D 低い	(分析・理由) 駐車場入庫待ち、空き駐車場を探すために中心市街地をうろつく車両による交通混雑を抑制するために必要
	行政関与の妥当性	A 高い B ↑ C ↓ D 低い	(分析・理由) 中心市街地では暫定的な土地利用としてコインパーキングが増えたこともあり、需要を満たしていることから、市街地全域としての駐車場の案内がなくても問題が生じる可能性が少ない。 システムに参加している駐車場が少なく、一部の駐車場あるいは特定の日を除き混雑する駐車場も少ない。
事後評価	有効性	A 非常に有効 B やや有効 C あまり有効でない D 有効でない	(分析・理由) アンケートにより入庫を待ってでも目的の駐車場を利用する(混雑時に周辺の空き駐車場を利用しない。)ドライバーの駐車行動が確認されている。 システムに参加している駐車場が少ない。
	効率性	A 単位当たり経費が前年比マイナス B 単位当たり経費が前年とほぼ同じ C 単位当たり経費が前年比プラス D 評価できない	(分析・理由) 駐車場案内システムによって交通混雑が抑制されているか確認できない。

今後の事業展開

規模		(分析・理由)
廃止	拡大・充実 現状のまま継続 縮小 廃止	駐車場情報の発信システム技術の高度化が進み、市が管理するシステムによらずともドライバーが求める情報を提供することが可能となったため廃止する。

具体的な改善内容・事業の方向性等

平成6年の稼働当初は、ドライバーが駐車場の位置、満空情報を得るには路上案内板を見るしかなく有効でしたが、平成20年1月のドライバーへのアンケートによると、案内板を利用する人は24%と多くありませんでした。これは、駐車場の位置情報がカーナビやインターネット(携帯電話の機能を含む。)でも取得できるようになったことも影響していると考えられます。また、案内板は経年から故障が多く、さらに駐車場の新設や当初システムに参加していた駐車場の廃止に伴う案内板の改修対応が困難なため、稼働を休止する予定です。
 一方、カーナビ、インターネットについても、アンケートでは、駐車場案内として位置情報を求める人の割合69%に対して、満空情報を求めている人の割合は21%と少ないため、市が主体となって行うカーナビ、インターネットによる情報提供についても廃止する予定です。

(問題意識) アンケートにより、案内板を利用していないことが判明したこと、あるいは市街地の駐車場は供給が多い状態であり、入庫待ちや空き駐車場探しによるうろつき車両の発生は少ないと考えられることから、駐車場情報を収集、発信を市が主体となって行わなくてもよいと考えます。

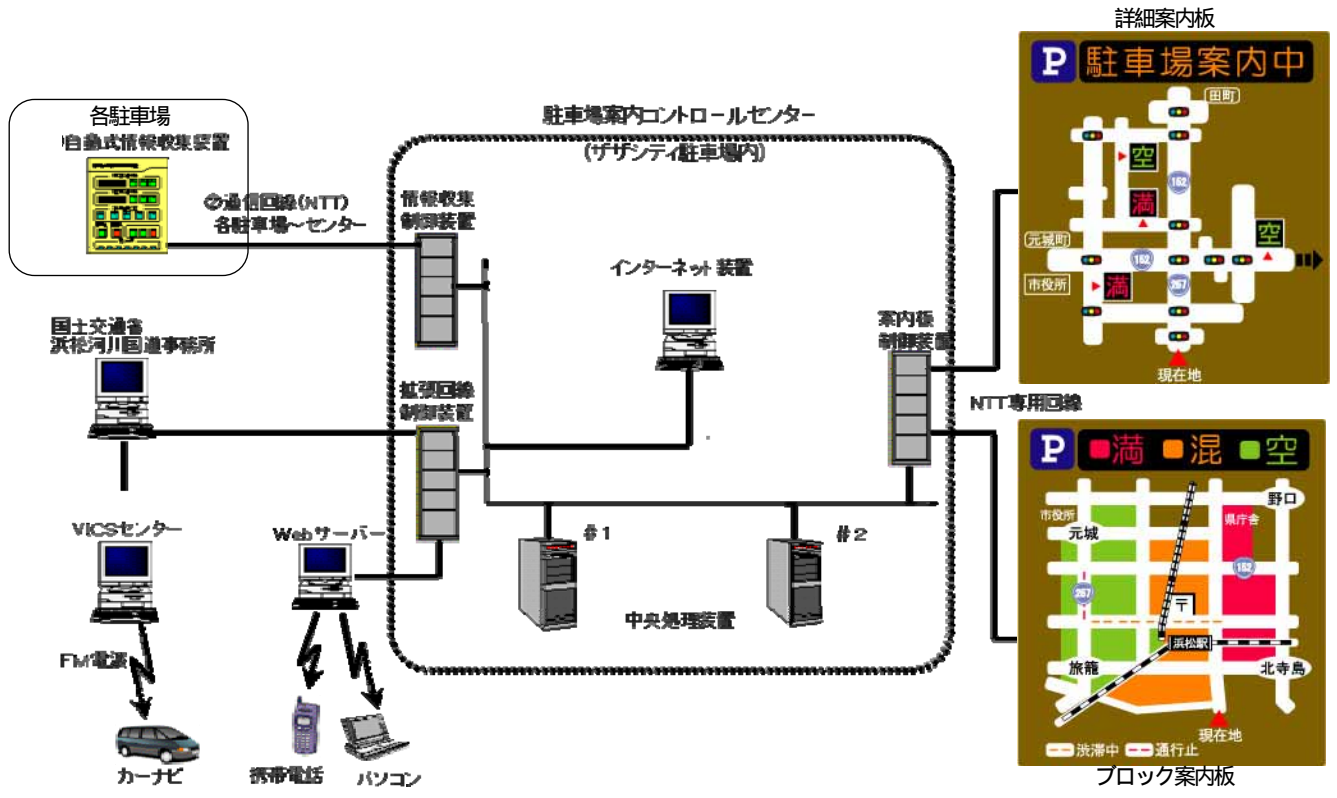
(想定結果) 廃止すべきもの (個々の駐車場の位置情報等の情報発信の部分では、民間の実施が適当なものにも該当)

(備考) 事業に対する市民・市民活動団体・事業者・議会からの指摘

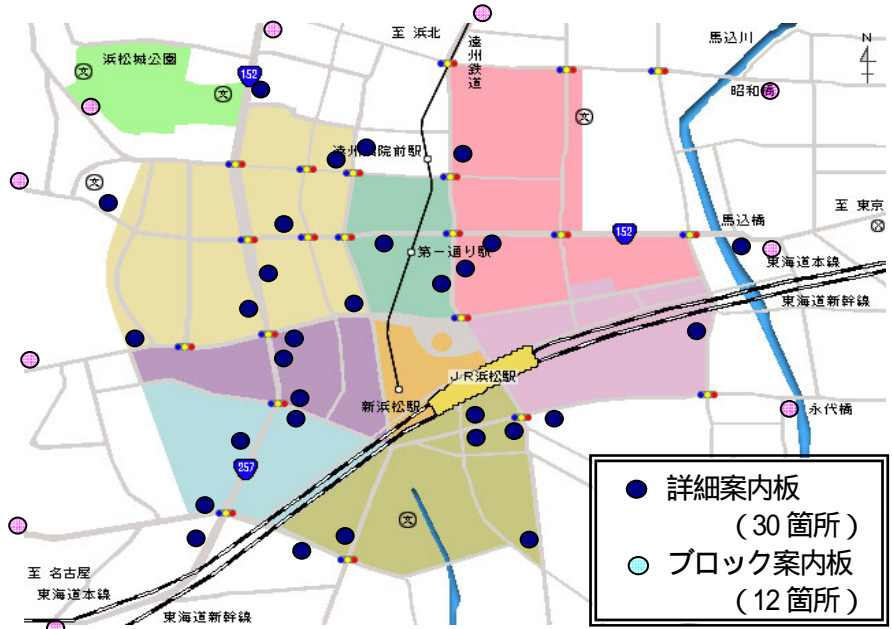
平成20年2月議会 丸井通晴議員「駐車場案内システムについて」

事業番号 4 2 駐車場案内システム管理事業（都市計画部交通政策課）

駐車場案内システム構成図

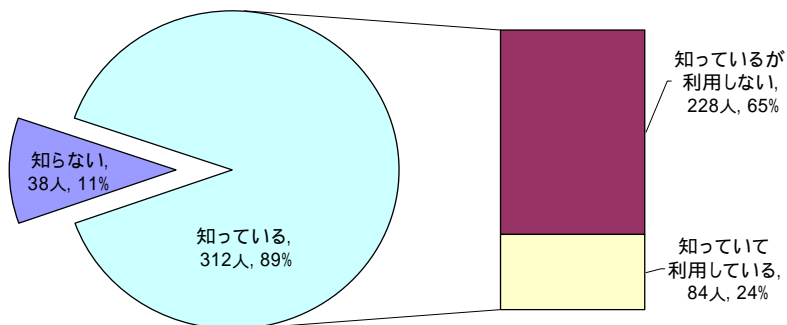


案内板位置図

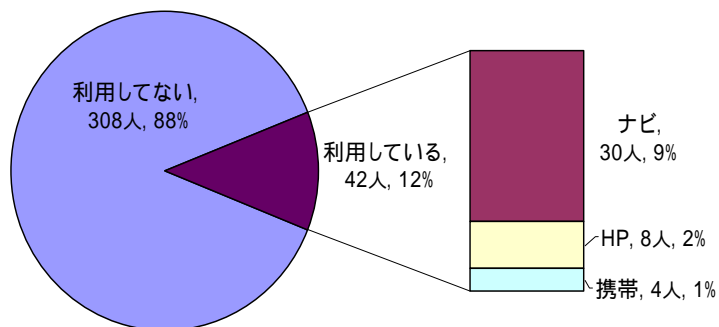


アンケート結果

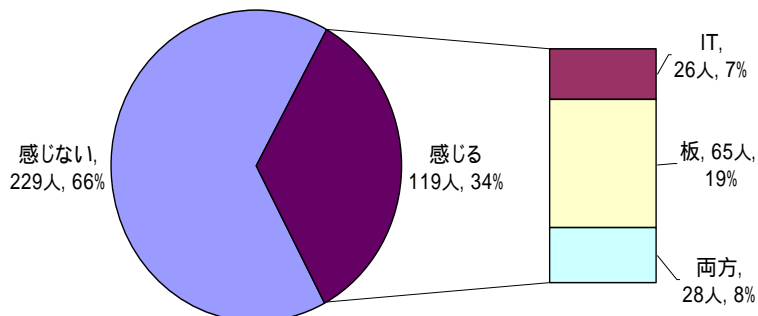
1 案内板の認知度及び利用度



2 インターネット、カーナビによる案内システム利用度



3 駐車場案内システムが役に立つと感じますか



4 駐車場案内システムでは、どのような情報が必要と感じますか

